

経営概要書

法人名：

株式会社 男鹿水族館

(株 5)

代表者職氏名	代表取締役 千葉 俊
所在地	男鹿市戸賀塩浜字壺ヶ沢93番地先

所管部課名	観光文化スポーツ部観光戦略課
設立年月日	平成15年4月16日

【沿革及び県の出資理由】

魚などの触れ合いを通じた学習の機会を提供し、県民の自然保護及び地球環境保全についての理解を深めるとともに、秋田県の観光振興を図ることを目的に県等の出資により設立された。

【出資者】 (H26年度当初) (単位:千円、%)

区分	団体数	出資額	構成比
秋田県	1	51,000	51.0%
男鹿市	1	31,000	31.0%
その他	5	18,000	18.0%
計	7	100,000	100.0%

【事業】

①主たる業務

秋田県立男鹿水族館の管理運営

②事業実績 (単位:千人)

事業名等	H23年度	H24年度	H25年度
入館者数(有料)	233	206	273

③H25年度事業概要及び26年度事業計画・目標

(H25年度事業概要) 平成25年度は、4月に「ひれあし's館」(ひれあし図鑑)がオープンし、続いて仔グマの公開、7月に「海フェスタ」、10月からはデスクティネーションキャンペーンとイベントが充実し、3月には総来館者数が300万人を達成した。

(H26年度事業計画・目標) 今年度は昨年度の電気料金値上げに引き続き、消費税増税・高速道路料金の改定の影響により厳しい状況が想定されるが、周辺施設や近隣動物園・水族館との連携による話題発信を積極的に行っている。また10月の国民文化祭、アフターDCや11月に男鹿市で行われる種苗交換会等のイベントがあり、呼び込みを強化していくとともに長期的な視野で確実に内部充実を図る。

【組織】

①役員数(H26.7.1現在) (単位:人)

区分	取締役		監査役	
	H25	H26	H25	H26
常勤	1	1		
内、県退職者				
内、県職員				
非常勤	4	4	1	1
内、県退職者				
内、県職員	1	1		
計	5	5	1	1
内、県関係者	1	1		

②職員数(H26.4.1現在) (単位:人)

区分	H25	H26	正職員 平均年齢 29.7歳	正職員 平均勤続年数 5.3年
正職員	20	18		
内、県退職者				
出向職員				
内、県職員				
臨時・嘱託	7	7		
内、県退職者				
計	27	25		
内、県関係者				

役員報酬支給対象者数(H25年度)	2人
役員報酬支給対象者平均年齢	64歳
平均役員報酬額(H25年度)	4,230千円/年

【財務】

①損益計算書 (単位:千円)

区分	平成24年度	平成25年度
売上高	418,605	484,791
売上原価	89,729	115,193
売上総利益	328,876	369,598
販売費及び一般管理費	328,618	367,035
人件費(売上原価含む)	115,397	120,369
営業利益(損失)	258	2,563
営業外収益	3,589	4,541
営業外費用	112	68
経常利益(損失)	3,735	7,036
特別利益	7,744	
特別損失	20,181	
法人税・住民税・事業税	△ 2,198	1,469
当期純利益(損失)	△ 6,504	5,567

②貸借対照表 (単位:千円)

区分	平成24年度	平成25年度
流動資産	225,614	236,860
固定資産	14,646	16,263
資産計	240,260	253,123
流動負債	41,149	48,445
短期借入金		
固定負債		
長期借入金		
負債計	41,149	48,445
資本金	100,000	100,000
利益剰余金等	99,111	104,678
純資産計	199,111	204,678
負債・純資産計	240,260	253,123

退職給与引当状況	(単位:千円)		
	要支給額	引当額	引当率(%)
中退共加入			%

区分	平成24年度	平成25年度
県の貸付金残高	—	—
県の損失補償残高	—	—
県の債務保証残高	—	—

【県の財政支出】

区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	支出目的・対象事業概要等
補助金				
委託費	10,329	13,626	0	H24:災害復旧費(修繕・仮設空調設備)、H23:クルミ歓迎式典、緊急雇用事業
指定管理料	81,308	81,498	56,017	男鹿水族館指定管理料
貸付金				

経営評価表

法人名：

株式会社 男鹿水族館

(株 5)

1 主な経営指標

項目		単位	H23年度	H24年度	H25年度	H23-24増減	H24-25増減
健全性	自己資本比率	%	76.80	82.87	80.86	6.07	△ 2.01
	借入金依存率	%	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	流動比率	%	402.22	548.29	488.93	146.07	△ 59.36
収益性	剰余金(△欠損金)	千円	105,615	99,111	104,678	△ 6,504	5,567
	経常利益率	%	3.22	0.88	1.44	△ 2.34	0.56
	総資本利益率	%	5.69	1.55	2.78	△ 4.14	1.23
効率性	総資本回転率		1.77	1.76	1.93	△ 0.01	0.17
	職員1人当たり経常収入額	千円	13,533	11,728	14,392	△ 1,805	2,664
	人件費比率	%	26.18	27.33	24.60	1.15	△ 2.73

2 経営目標の達成状況

経営目標		区分	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度
指 経営 標 善	当期純利益(千円)	目標	500	3,000	492	60
		実績	8,719	△ 6,504	5,567	
指 事業 成 果	売上高人件費率(%)	目標	31	29	28	28
		実績	26	28	26	
指 事業 成 果	有料入館者数(千人)	目標	210	225	277	250
		実績	233	206	273	
指 事業 成 果	売上高(千円) ※業務受託収入除く。	目標	303,321	335,033	401,096	375,100
		実績	359,640	323,405	428,774	
顧客満足度指数		目標	88	80	98	98
		実績	78	97	98	

3 経営状況及び課題、経営目標の達成状況についての自己評価

ホッキョクグマ仔グマ誕生及び新館オープンに伴い、入館者数が昨年より7万人以上伸びた。震災の影響で遠のいていた近県のお客様の利用が回復し、気兼ねなく遊びに来れる海辺として、利用していただいた。夏休みの企画としてABS名探偵コナンの謎解きラリーを開催していたことも、増加要因になった。マイナス要素としてはホッキョクグマの仔グマを釧路へと返還したことにより、直後から客足が落ち込みはじめた。

〈顧客満足度調査の結果を受けて実施する取組〉

- ・繁忙期に駐車場係の増員、臨時福祉車両スペースや案内板を増やすことで混雑・渋滞の軽減を図る。
- ・繁忙期と閑散期で水族館の営業時間及び売店・レストランの時間の設定を変更し、対応する。
- ・エサ時間にショーの要素を少しずつ盛り込み、展示の充実化を図る。

〈H25年度経営評価指摘事項(早期の改善が望まれる事項)〉

指摘事項：なし

措置状況：

4 総合評価(計算書類等の資料及による評価)

A 概ね良好	B 改善の余地あり	C 改善措置が必要
<p>・ひれあし' s館のオープンや仔グマ「ミルク」の効果で入館者数が回復したことにより、売上高は前年度に比して66,186千円増加した。また、これに伴う事業経費の増加により、営業費用(売上原価・販売費及び一般管理費)は前年度に比して63,881千円増加した。よって、営業利益は前年度比2,305千円増加の2,563千円となった。経常利益は前年度比3,301千円増加の7,036千円、当期純利益は前年度の爆弾低気圧に係る復旧関連損益の剥落により前年度比12,071千円増加の5,567千円となり、黒字に転じた。</p> <p>・利益剰余金等は104,678千円と期間損益の水準に比して十分であり、財務基盤は安定している。</p> <p>・経営改善指標については「当期利益」が大きく目標を上回るとともに「売上高人件費率」は概ね目標水準を確保している。事業成果指標については入館者数が概ね目標水準を確保し、「売上高」は目標を達成した。</p>		